

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	部局高等教育の活性化 ― 研究成果発表の推進と分析機器の保守				
研究組織	代表者	所属・職名	大学院食品栄養環境科学 研究院・教授/研究院長	氏名	三浦 進司
	研究分担者	所属・職名	食品栄養科学部 ・教授/学部長	氏名	伊吹 裕子
		所属・職名	大学院食品栄養科学専攻 ・教授/専攻長	氏名	熊澤 茂則
		所属・職名	大学院環境科学専攻 ・教授/専攻長	氏名	雨谷 敬史
	発表者	所属・職名	大学院食品栄養環境科学 研究院・教授/研究院長	氏名	三浦 進司

講演題目	
部局高等教育の活性化 ― 研究成果発表の推進と分析機器の保守	
研究の目的、成果及び今後の展望	
<p>1. 研究目的</p> <p>自然科学系部局における教育は実験科学を基盤としており、その遂行には研究機器の整備が必須である。それらの機器を有効に活用するためには常に保守整備が必要である。一方で、向学心を有する大学院学生を獲得するために、大学院の広報活動の重要性は高い。特に研究成果を効果的に発信することは、学生の定員数充足だけでなく、さらなる産学連携の推進や研究費の獲得の観点からも極めて重要である。大学院食品栄養環境科学研究院における広報の手段としては、冊子体（大学院研究院案内など）、ホームページ、教員による大学院説明会（本学での開催）などを活用してきた。しかしながら、これらの手段による効率的な広報には、極めて多くの事務作業が必要となってくる。そこで、広報活動に関する事務あるいは専門技術的な作業を業者委託することで教員の主要職務である教育・研究活動に費やすことができる体制の整備を行うことを目的とした。</p> <p>2. 研究成果</p> <p>教育・研究に必要な基盤整備として電子ジャーナル費の補填をおこなった。また、老朽化した実習用研究機器を更新し、教育・研究の活性化に繋げることができた。広報活動に関しては、大学院案内を作成し、国内の主な大学・研究所等に配布した。また、ホームページについても活用することができた。</p> <p>3. 今後の展望</p> <p>研究活動の活性化にはそれを支援する電子ジャーナルが不可欠である。電子ジャーナルの契約費用負担を行うことで、本部局の研究の一層の発展が期待される。また、学部・学府・専攻・研究院の活性化のためには、限られた人員の配置の中で、教員の主要職務である教育・研究に優先的に時間と労力を集約できるような支援体制を整えていく。</p>	